(様式第3号)

企業・団体名(株式会社平元商店

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

+									主なSDG	s (17:	ј —,	ルと169	ター	デット)	関連	頁目		
カテゴ	T 4 西口	取組	【非該当】	【予定】の		1	2	3	4 5	6	7	8 9	10	11 12	13	14 15	16	17
ゴリ	チェック項目	レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	170. 34948	2 21	isma å	MII O	8 000°°	•	M &	19:000** *===	ALL CO	•	15 KUT*** ********* ******* ******* ******	18 TO 22	*****
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、待遇、福利厚生など雇用条件で差別のない体制を構築し、経営者トップが積極的に関与している。作業員で外国籍、障がい者も長く雇用。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。各部署の責任者によるチェック体制、教育、トップに直に相談できる体制を整備している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8					16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法の最新情報は社内管理者で共有しており、労務士とも常に情報交換や相談をしている。勤怠管理はICカード、スマホ端末でシステムで管理している。							8.5 8.8						
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者を雇用しているが、雇用条件、人種など差別や人権侵害など差別的な事は無い。またそういった教育、雰囲気をトップが率先して行っている。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
⁵ 人	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安主制生管理名、安主推進名、安主運転管理名は 選定し、安全衛生方針の元、チェック、パロール、リス クアセスメントを行っている。毎朝の朝礼、朝礼日誌、 lineによる各主体からの情報共有での意識向上。社内			3				8						
· 分 6 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・希望者へのストレスチェック。心の健康、アンガーマネージメント、各社会問題へのトップの考え方、 意向、解説。福利厚生はコロナ禍後、トイレの増設や季節ごとの食品配布、病気への保険対応など新しい試みも行っている。			3										
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・ダイバーシティはもはや当たり前の考え方。障がい者、 高齢者、女性、外国人すべて適材適所で雇用してい る。またその認識を社内でしっかり共有できるように教 育している。				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			育している。 ・ 現場作業で必要な合種質恰、運転発計の全国文援。他社の好事例、同業他社の取組など、一人一人 が表え、自発的に能力、勉強を出来るよう機会を設け				4 5.5			8 9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・男女格差の是正など原則に沿って改善している。				5.5			8.5	10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			・毎年の健康診断の実施。「安全第一」「いのち大事 に」の意味の教育、投資を行っている。			3				8						
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物収集運搬処理業を業としており、適正処理は 勿論、資源循環、低炭素の環境問題も常に最新情報 で関係者にも相談をしたり受けたりしている。									11.6 12		14.1		
12 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・使用している電気、水道、燃料は月別で把握し、生産量からのCO2排出量の計算。						7.3				13			
境 13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・節電、節水、エアコン温度、クール(ウォーム)ビズなど、一般的な事は習慣化されている。 川の水を使用したり、太陽光発電設備もある。						7.2 7.3			12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・法令等で規制されている有害物質については法令に基づいて取り扱いしている。廃棄物はSDSやWDS、分析調査など適切な手順を踏んでいる。			3.9		6.3				11.6 12.4				

ſ	カ			Patenta ata N					主なSD	Gs	(17ゴー	ールと	169ター	ゲット)関	連項目			
	テゴ		取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3	4 {	5 (ĵ 7		9 10	11	12 1	3 14	15	16 1	7
	ゴリ	, - , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ノベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	1.04 3 494	21. 3 smet. →√.	4752*** 5 10 M	7 B 10	7 :====	all a	10 ccc 1	ALL C	× (2)	Name of the last o	15 mm 18	18 mint 17 is	die D
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・会社名から排出される物、廃棄される物は適正適切処理は勿論、グリストラップの清掃、会社周りの環境美化活動に取り組んでいる。				6	.6						15		
16	_	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・廃棄物処理を業としている為、社内は勿論、取引先 や関係などにも提案をしている。循環型社会構築。									13	14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ ャレン ジ			・水道の代用で川の水を使用したり、上下水道の節水 教育、その掲示をしている。					.4 .6								
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・18014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ャレン ジ			・エコアクション21と同程度の事は行っていると自負しているが、取得までには至っていない。		3.9			6 7				12 13	3.3 14	15		
19	-	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ ャレン ジ			・顧客へはリサイクルフロー、廃棄物フローを開示し、HPでは環境方針を開示している。取り扱い総量は開示していない。								1	2.6				
20	-	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ ヤレン ジ			自社浅間工場屋根に48kの太陽光発電設備。					7.2				1	3			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ ャレン ジ			・業種柄、調達ものは廃棄物や専ら物(資源物)になるが、事務所で使用する紙などは原則再生資源を使用。 エネルギーは特に調達で工夫はしていない。								1	2.2 1	3 14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則にもあるが不正な行為には、厳格に罰則がある。社会通念を逸脱する行為の注意は、日頃の社内教育でも行っている。												16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・すべての不正な行為は健全な社会活動ではないと認識し、社内教育、広報物で周知している。												16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・特に知的財産は無い。必要があれば対応する。						8.2 8.3	9						
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・取引先との機密保持契約、社内個人情報規約、パソコンのセキュリティ、警備システムなど適切に管理している。												16	
26	未慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	・ ヤレン ジ			・廃棄物の排出事業者から申告が無い限り把握は出 来ない。												16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	・ ャレン ジ			・契約書記載事項以外でも、各取引先、各排出先とも 相互に情報共有し、ライフサイクルアセスメントで物事を 考え取り組んでいる。			ţ	5		8	10		12 1	3 14	15	16 1	7
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	・ ・ ジ	【非該当】		・情報収集や認識を深めたりし、イメージを思索している。この制度以外でも、すべての主体と同業と協力して、未来を創造出来ないか、身近でも議論をしている。		3				8	9 10					1	17

ſ				Fall State V	[T = 1 0						: (17 ⊐ −							
		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	1	2	3	4		6 7		10	11			15 16	
			レヘル	選択入力	場合 選択入力	10% Artist	2 27	3 sma -₩•	4752*** 	o	# ###################################	al &	10:000	A BEA	© 200	SPETE NEED	15 starring 18 (19 to 22)	D locality
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・廃棄物処理業、再生資源卸売業の為、受け入れる 前に疑義があれば安全性をSDS、分析などを行ってい る。万が一の事態にもその先の処理まで想定している。		3.9							12.4			
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・再生資源卸売りは製品の品質、廃棄物は分別加工、 受け入れ時の検収検品、商談前の確認など構築され ている。						9						
31	- ビ ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ			・リサイクル業ともいえる為、受け入れた物をどう環境衛生、保全で再生させるかを常にアップデートしている。					6				12	13 14	15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ			・企業戦略として、社会課題、環境問題への対応、取引先へも情報発信している。	2	3	4	5	6 7	8 9	10	11	12	13 14	15 16	17
33	វ +	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・廃棄物処理がインフラ、エッセンシャルワーカーと認識 されはじめていることを認識している。法令順守は当然 だが地域から必要とされることを自覚し社員教育してい る。			4			9		11	12	14	15	17
34	地域貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本			・地域への各寄付や協賛、環境美化活動、ボランティア清掃活動に参加している。2024年佐久市より地域環境保全で表彰された。工場見学年間約20団体。			4					11		14	15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	基本			・地域密着型を軸に相互に利用しあい、信頼関係を構築することを念頭に置いている。						8 9		11	12	13		
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・企業経営理念の朝礼唱和、安全衛生方針、自社の5つの価値としてHPにも記載している。						8 9						17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			・業種柄含め法令順守は当然の認識。仕組みは整えているが更なる改善、フォローも必要と捉えている。											16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	チャレンジ			・組織図を作成し、各担当者も配置しているが、まだま だ課題もある。人材育成に労力を費やしている。											16	
39	組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・会社は社会の一員として、社会的責任として誠意をもって誠実に対応している。											16	17
40	体 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ			・安全衛生方針を掲げているが、更なる改善や人材育 成含め継続して取り組む事柄だと認識している。											16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	基本			・エコノミーとエコロジーの両輪で、変化の激しい社会情勢にチャレンジ思考で取り組んでいる・											16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ			・事故や災害は訓練やマニュアルで危機管理はしている。 事業継続計画は人材含め課題が多い。						9		11		13 13.1	16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ			・事業承継は常に考えてはいるが、次世代の具体的な対策は模索中。						8 9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12 1	3 14	15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGs との関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定